

IV 東京湾赤潮・青潮調査

東京湾の赤潮の発生状況については、公共用水域水質測定計画に基づく調査、環境研究センターによる東京湾水質調査及び水質調査船「きよすみ」の巡視等による観測から把握しており、その結果は以下のとおりである。

また、赤潮の判定は海水の色相がオリーブ系ないしブラウン系に変わっている海域を判定するとともに、水質データからの赤潮の判定は、表４－１で示される「赤潮の目安」を参考に判定しており、１８年度における月別発生回数は表４－２のとおりである。

表４－１（千葉県における）赤潮判定の目安

色 相	オリーブ系～ブラウン系
透 明 度	１．５m以下
クロロフィル a	５０μg／L以上
溶存酸素飽和度	１５０％以上
p H	８．５以上

表４－２ 月別赤潮発生回数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
調査回数	3	7	4	7	5	5	3	6	4	3	3	4	54
発生回数	0	1	1	4	4	1	0	0	0	0	0	0	11

青潮については、水質保全課と環境研究センターが共同で青潮発生時に、随時現場調査を行っており、１８年度の青潮発生状況及び経年推移は表４－３及び表４－４のとおりである。

表４－３ 平成１８年度青潮発生状況

発生日	発生水域（最大時）	漁業への被害等
9/13～9/19	千葉中央港、浦安沖～市川航路～船橋航路 ～習志野市茜浜～幕張沖	な し

表４－４ 青潮発生の推移

年 度	14	15	16	17	18	５年間平均
回 数	3	2	1	6	1	2.6回
延べ日数	11	7	4	20	7	9.8日